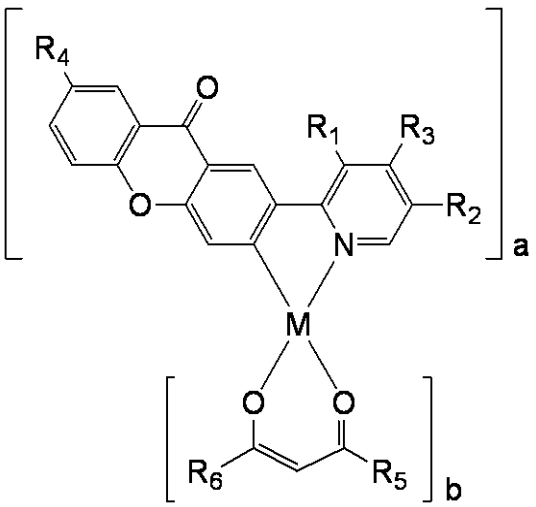
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成27年4月30日(2015.4.30)

【公開番号】特開2013-32305(P2013-32305A)
【公開日】平成25年2月14日(2013.2.14)
【年通号数】公開・登録公報2013-008
【出願番号】特願2011-168943(P2011-168943)
【国際特許分類】
Ｃ０７Ｆ　15/00　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　51/50　(2006.01)
Ｃ０７Ｃ　49/92　(2006.01)
Ｃ０９Ｋ　11/06　(2006.01)
Ｃ０７Ｄ 405/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｆ　15/00　ＣＳＰＥ
Ｈ０５Ｂ　33/14　Ｂ
Ｃ０７Ｆ　15/00　Ｆ
Ｃ０７Ｃ　49/92
Ｃ０９Ｋ　11/06　６６０
Ｃ０７Ｄ 405/04

【手続補正書】
【提出日】平成27年3月17日(2015.3.17)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
下記一般式（１）で示されることを特徴とする、有機金属錯体。
【化１】



（１）

（式（１）において、R_1及びR_2は、それぞれ水素原子又は炭素数が１乃至４のアルキル基を表す。R_3は、水素原子、炭素数が１乃至４のアルキル基、炭素数が１乃至６のアルコキシ基又はアリールオキシ基を表す。R_4は、水素原子又は炭素数が１乃至４のアルキ

ル基を表す。R_5及びR_6は、それぞれ炭素数が１乃至４のアルキル基を表す。Ｍは、Ｉｒ又はＰｔを表す。ａ及びｂは整数である。
ただしＭがＩｒの場合、ａ及びｂについて、下記（Ａ１）及び（Ａ２）が満たされる。
（Ａ１）ａ＋ｂ＝３
（Ａ２）ａは２又は３
またＭがＰｔの場合、ａ及びｂについて、下記（Ｂ１）及び（Ｂ２）が満たされる。
（Ｂ１）ａ＋ｂ＝２
（Ｂ２）ａは１又は２）
【請求項２】
前記ＭがＩｒであることを特徴とする、請求項１に記載の有機金属錯体。
【請求項３】
前記ａが３であり、前記ｂが０であることを特徴とする、請求項２に記載の有機金属錯体。
【請求項４】
前記ａが２であり、前記ｂが１であることを特徴とする、請求項２に記載の有機金属錯体。
【請求項５】
前記R_1、R_2及びR_4が水素原子であることを特徴とする、請求項１乃至４のいずれか一項に記載の有機金属錯体。
【請求項６】
前記R_3が水素原子又は炭素数が１乃至４のアルキル基であることを特徴とする、請求項１乃至５のいずれか一項に記載の有機金属錯体。
【請求項７】
前記R_3が炭素数が１乃至４のアルキル基であることを特徴とする、請求項３又は４に記載の有機金属錯体。
【請求項８】
前記R_4が炭素数が１乃至４のアルキル基であることを特徴とする、請求項３又は４に記載の有機金属錯体。
【請求項９】
前記R_1及びR_2が水素原子であることを特徴とする、請求項７又は８に記載の有機金属錯体。
【請求項１０】
一対の電極と、前記一対の電極の間に配置され少なくとも発光層を有する有機化合物層と、から構成される有機発光素子において、
前記有機化合物層に、請求項１乃至９のいずれか一項に記載の有機金属錯体が含まれることを特徴とする、有機発光素子。
【請求項１１】
前記発光層が、ホストとゲストとを有し、
前記ゲストが、前記有機金属錯体であることを特徴とする、請求項１０に記載の有機発光素子。
【請求項１２】
複数の画素を有し、
前記画素が、請求項１０又は１１に記載の有機発光素子と、前記有機発光素子に接続されたスイッチング素子と、を有することを特徴とする、表示装置。
【請求項１３】
画像を表示するための表示部と、画像情報を入力するための入力部と、を有し、
前記表示部が、複数の画素を有し、
前記画素が、請求項１０又は１１に記載の有機発光素子と、前記有機発光素子に接続されたスイッチング素子と、を有することを特徴とする、画像入力装置。
【請求項１４】

請求項１０又は１１に記載の有機発光素子と、前記有機発光素子に接続されたインバータ回路と、を有することを特徴とする、照明装置。